

## 福祉部会

### 杵淵剛大議長

次に、福祉部会 42番 文星芸術大学附属高等学校 田淵竜介さん，43番 宇都宮短期大学附属高等学校 上野唯さん。

#### 42番 田淵竜介議員

議長，42番

#### 43番 上野唯議員

議長，43番

〔42番 田淵竜介議員 43番 上野唯議員 登壇〕

#### 42番 田淵竜介議員

42番 文星芸術大学附属高等学校 田淵竜介です。

民生委員と一人暮らしのお年寄り対策について質問いたします。

先日、「民生委員の1人がお年寄りを殺害し，預金通帳からお金を引き出す。」という事件が発生しました。あってはならない悲惨な事件ですが，お年寄りを守るために色々な対策をしていかなくてもはならないと思います。

そこで，お聞きします。市では今，民生委員の状況をどれだけ把握しているのですか。また，今後，同様の事件が発生しないためにも，民生委員の指導とレベルアップが必要であると考えますが，そのことについて，どのような対策をとっていくのか具体的に教えてください。

次に，私たちの中には，家族から離れて一人暮らしをしているお年寄りがいて，連絡がとれないと心配になるという人がいます。また，一人暮らしをしていると，することがなくて退屈したり，話す相手がなくて孤独になってしまったりする人がいるようです。

私たちは，そのような人たちのために，地域内で連絡を取り合い，健康状態などを把握し，家族に安心してもらったり，月に何度かその地域の人たちと交流し，退屈や孤独感を少しでもやわらげられたら良いと考えました。

そこで，お聞きします。一人暮らしのお年寄りの生活が充実できるように，どのような対策をとっていますか。具体的に教えて下さい。

以上で質問を終わりにします。よろしくお願いいたします。

#### 43番 上野唯議員

43番，宇都宮短期大学附属高等学校 上野唯です。

「点字ブロックと補助犬について」質問いたします。

視覚障害者のために設けられた「点字ブロック」が街のいたる所で見かけるようになりました。

しかし、これからの「点字ブロック」に違法駐輪や看板・ゴミが置いてあったりして、本来の役割が機能していない所が見受けられます。そこで、私たちは、違法駐輪などをしないように、ポスターや広告で呼びかけたり、罰則の強化が必要と考えました。

そこで、お聞きします。「点字ブロック」の障害物について、どのような対策をとっているのですか。具体的に教えて下さい。

次に、目や耳、からだの不自由な人のために働く補助犬について、このように考えました。

日本では、まだまだ理解が十分にされていなく、レストランなどで補助犬同伴での入店を断られるということもしばしばあるようです。平成 14 年 10 月 1 日に「身体障害者補助犬法」が施行されました。さらに、平成 15 年 10 月 1 日からは、デパートやスーパー、ホテル、飲食店などの一般的な施設にも、同伴できるようになりました。

宇都宮市にも補助犬を必要とする人々が多くいますが、数が足りないようです。

そこで、多額の費用がかかると思いますが、補助犬育成施設を設立してはいかがでしょうか。すでに、各地で募金活動を繰り返し広げていますが、それでも足りないようです。多くの障害者の人たちが補助犬の同伴が可能な施設が増えて、生活がもっと充実してくれば良いと思います。

そこで、お聞きします。補助犬の育成施設や同伴できる施設を増やすことについて、どのような対策をとっているのですか。具体的に教えて下さい。

以上で質問を終わりにします。よろしくお願いいたします。

## **井澤清久保健福祉部次長**

議長，保健福祉部次長

## **杵淵剛大議長**

保健福祉部次長

〔井澤清久保健福祉部次長 登壇〕

## **井澤清久保健福祉部次長**

田淵議員のご質問にお答えいたします。

「民生委員と一人暮らしのお年寄り対策について」のうち、「民生委員について」ですが、民生委員は、人格や識見が高く、地域の皆様から信頼される方が、審査を経た上で、厚生労働大臣から委嘱を受けています。

現在、本市におきましては、676 名の民生委員が、援助を必要とする高齢者や障害者などの相談・支援活動を無報酬で行っています。

民生委員の活動状況につきましては、市内 37 地区の民生委員・児童委員協議会が開催する会議に、定期的に市の職員が出席し、情報交換をしながら相談支援などの状況の把握を行っています。さらに、民生委員個々の活動状況につきましては、地区会長を通じて報告をいただいています。

また、民生委員の指導とレベルアップにつきましては、今回、この事件を受けまして、緊急に地区会長会議を開催し、民生委員が地域で活動するにあたっては、社会奉仕の精神を持って、基本的

人権の尊重とともに、常に住民の立場に立ち、自発的・自律的な活動を行うよう改めてお願いしたところです。

今後とも、新任民生委員研修や中堅民生委員研修など、経験年数に応じた研修会を開催するとともに、地区民生委員・児童委員協議会と緊密な連携を図りながら、資質の向上に努めます。

次に、「一人暮らしのお年寄り対策について」ですが、本市には、平成17年3月末現在で、65歳以上のお年寄りが約7万5千人住んでおり、そのうち一人暮らしのお年寄りは約8千人おります。

その中には、病気のことや孤独感など、不安を抱いて生活している方もおられることから、平成15年度より、地域の方々が一人で暮らすお年寄りに声をかけ、手を貸し、見守り、助け合う「ネットワーク」を自治会単位で築いていくことに取り組んでいます。

また、閉じこもりがちな人を対象に、孤立感を解消し、介護が必要にならないようにするため、リフレッシュ体操やレクリエーションなどを行う「デイサービス事業」や、希望する人に、お弁当を配達しながら併せて安否確認を行う事業などを行っています。

さらに、宇都宮市社会福祉協議会でも、会食を通じて多くの人達と交流してもらう「会食サービス事業」などを行っており、一人暮らしのお年寄りが、住み慣れた地域で生きがいをもって生活できるよう支援しています。

皆さんにも、地域の中で、お年寄りの方々が安心して生活できるよう、日頃から、お年寄りの方々とふれあっていただくことを期待しています。

続きまして、上野議員のご質問にお答えします。

「点字ブロックと補助犬について」のうち、「補助犬について」ですが、補助犬は、目や耳、体に障害を持つ方が、社会的に自立した生活を送るための良きパートナーとして、年々、その需要が高まっています。このため、1人でも多くの方に補助犬を提供することができるよう、全国各地に補助犬を育成する施設が設立されています。

これらの育成施設の設立につきましては、訓練士など多くの専門家を必要とすることから、本市においても、補助犬の育成はこうした機関に委ねており、介助犬や聴導犬の育成にあたる団体に、補助を行う制度を設けて、支援しているところです。

また、補助犬の施設への同伴につきましては、これまでの国・地方公共団体・公共交通機関等の公共施設などに加えて、不特定多数の人が利用するホテル、デパート、レストランなどに拡大されたところです。

このようなことから、本市におきましては、補助犬の同伴ができることを分かりやすくするため、ステッカーを商店街に配布し、その啓発に努めてきたところです。

今後とも、飲食店協同組合などを通して、多くの方にご理解を得られるよう取り組みを続けます。

## **笠井純建設部次長**

議長、建設部次長

## **杵淵剛大議長**

建設部次長

〔笠井純建設部次長 登壇〕

### **笠井純建設部次長**

上野議員のご質問にお答えいたします。

「点字ブロックと補助犬について」のうち、「点字ブロックの障害物について」ですが、点字ブロックは、視覚障害者の安全で安心な歩行を確保するための重要な施設ですが、自転車などの障害物により、その役割を果たせない状況も見受けられます。

このため、放置自転車に警告書を付けたり、点字ブロックのパトロールを実施するなど、安全確保に努めています。

皆さんも点字ブロックの上に自転車などの障害物を見かけたら、どうぞ勇気をもって、どかしてあげてください。

点字ブロック本来の役割を果たすためには、市民一人ひとりの意識を高めることが重要ですので、今後とも、広報紙やホームページによる呼びかけ、また、現場での指導を強化していきます。

### **杵淵剛大議長**

以上で、福祉部会の質問を終わります。

質問者が半数を終了しましたので、暫時休憩いたします。再開は2時40分といたします。なお、再開後の議事運営は副議長と交代いたします。